

## 高千っ子祭りは不滅です

～汎用人工知能の時代を生きる児童のために～

校長 嶋見 靖之



学校の花壇には、地域の方からいただいたユリが盛んに咲いています。そしてアジサイが見頃です。

1・2年生は生活科の授業で生き物の観察をしています。一人一人が生き物に名前をつけて飼っています。サドマイマイとかたつむりもいます。「サドマイマイのさどちゃん」と名前をつけてかわいがっています。5・6年生の教室には春からメダカを飼育していて繁殖もしています。

自然の豊かさがある高千小学校です。

さて、6月23日（金）午後、恒例の高千っ子祭りを行いました。なかよしスローガン「いじめゼロ みんなで協力 高千っ子」の下、1～6年生が混在する班（高千っ子班）で出店を計画しました。そして当日、お客様に楽しんでもらえるよう、笑顔で元気に呼びかけたり、優しくゲームの仕方を教えたりしていました。

祭りが終わり、児童は「仕事が楽しくできて良かった」、「お客さんがきてくれて嬉しかった」といった感想を語っていました。さらにその後、「元気があって良いです」、「工夫がしてあっておもしろかった」、「昨年よりもグレードアップしていた」といったお客様の感想を録音で聞いた児童は、喜んでいました。高千っ子祭りの経験は自信となって、これからを歩むエネルギーになることでしょう。

これらの活動は、お客様なしには成り立ちません。当日おいでいただいた保護者の皆さん、たかち保育園園児や高千中学校生徒の皆さん、高千の里の皆さん、民生委員や青少年健全育成協議会の皆さん、本当にありがとうございました。

ところで、2030年頃までに、「汎用人工知能（汎用AI）」が開発されるそうです。「汎用人工知能」というのは、人間のように様々な知的作業をこなすことのできる人工知能です。そして2035年頃には汎用AIを搭載したロボットが製品化されていてもおかしくないそうです。店先では人間ではなく、汎用AIロボットがお客様を接待することになるのが当たり前、そんな時代が来るそうです。

駒澤大学経済学部井上智洋さんは、「それでも人間には、そんな汎用AI・ロボットには負けない分野がある」といいます。それは「創造性」、「経営・管理」そして「もてなし」。まさに高千っ子祭りを計画・運営する児童の姿です。

高千っ子祭りを作り上げた児童は、汎用AIの時代を生きることができる。私はそう感じています。高千っ子祭りは不滅です。